

Photo Gallery



植樹の状況を確認 「町民の森」を整備



▲枝払い、下草刈りなどの整備が行われました

8月20日、畑・南箱根ダイヤモンド東側付近でボランティアによる町民の森づくり事業が行われました。

暮らしの恩恵をもたらす山を育て適切に管理するため、町民、町議会議員、町職員など約50人が参加し、枝払いや下草刈りなどの整備を行いました。

町民の森は、平成15年度に町制施行40周年記念として約1ha（ヘクタール）にモミジやサクラなど約500本を植樹。当時は1m前後だった木々も10年以上で5メートルほどに育った様子を確認しました。



（株）ゼンリンと協定を締結 災害時に広域地図などを提供

8月23日、函南町役場で町とゼンリン東海により「災害時支援協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時や防災訓練の際に、1枚の地図に町内全体を網羅された「広域地図」の利用や住宅地図のコピーが可能となり、インターネットでの住宅地図も無償で提供されます。

石原社長は「地図提供により、町と連携し情報交換することで、防災・減災へ貢献していきたい」と話してくれました。

県内自治体で同社と災害協定を締結するのは県を含めて21例目です。



▲「災害時支援協定」を締結した森町長と石原社長（写真右）



地域住民と訓練 有事に備えて総合防災訓練



▲身近なものを使用した応急救護訓練

9月1日は「防災の日」です。

8月27日、防災の日を前に「函南町総合防災訓練」が函南町保健福祉センターや道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」などの町内各地で行われました。

同訓練には、自主防災会や町職員、各防災機関など約7,300人が参加し、地震を想定した災害対策本部の運営、被害状況の情報処理対応の流れ、無線通信訓練、救護所の開設・運営、防災倉庫資機材の確認、炊き出し訓練、AEDを使用した応急救護訓練などが行われ、大地震などの有事に備えました。

函南町文化協会

団体・活動紹介

フラ・ハラウ・オ・ハレ・プメ
下村 勲

中学まで上沢で過ごし、のどかで温かい人たちに囲まれて楽しかった思い出が、今も心の財産となっています。

現在は、隣市の熱海に居住し、フラの魅力に浸り21年が経ち、熱海・三島・湯河原などで教室を開き、6歳から90歳代までの皆さんと楽しんでいます。

フラは、全への感謝、心からの歓喜、優しさ、「アロハ（愛）」を手話と全身で表現します。現在マスコミで取り上げられているように「体・心」にも大変良い運動です。

私自身は、カフラオ・マヌワイ昌美先生に指示し、7年間、月4回東京へ通い、先生の教えの全てに感動し、自身の活力となっています。活動は、熱海市内外のイベ



ントや施設および企画のボランティアなどに参加しています。全てが豊かな故郷「函南」その輪の中に入れていただけることに感謝します。子どもの頃も、今も同じ思いで函南町を懐かしみ、大好きでいる私たちフラのチーム「フラ・ハラウ・オ・ハレ・プメ」をよろしくお願いします。

問合せ先/下村 勲 (0557-83-0613)

文芸散歩

「映心流」の華道を続けて七十二年教室閉じしも
華活けおりぬ 塩谷千鶴子

クラス会閉じて十年幾人が達者でいるや卒寿も半ば
菅沼あさ子

水底の陽の透けし岩に鮎の群石に生える苔にむさぼる
佐藤静枝

この夏の酷暑の日々を乗りこえし我に初秋の風のさわやか
山田祐子

古民家の苔むす庭の夕闇に白きわたたせ萩の乱る
相原幸枝

炎天下抹茶氷にいやされて渋き香りにいつときの涼
飯田啓子

一歳過ぎまだ歩かぬの孫二人赤子から今子供になりし
秋野喜代子

まなじりに滴のこして眠る子は母に会えしか高く笑いぬ
桂木睦子

「古事記」置かるホテルにしばし読み更ける桂木
森 睦子

〈函南短歌会〉